

鉄筋及び鉄骨鉄筋コンクリート造建築物等の応急危険度判定調査表

集計欄は数字で記入

RC

整理番号 _____ 調査日時 _____ 月 _____ 日 午前・午後 _____ 時 調査回数 _____ 回目

調査者氏名 (都道府県/N o) _____ (_____ / _____)

建築物概要

- 1 建築物名称 _____ 1.1 建築物番号 _____
- 2 建築物所在地 _____ 2.1 住宅地図整理番号 _____
- 3 建築物用途 1. 戸建て専用住宅 2. 長屋住宅 3. 共同住宅 4. 併用住宅 5. 店舗 6. 事務所
7. 旅館・ホテル 8. 庁舎等公共施設 9. 病院・診療所 10. 保育所 11. 工場
12. 倉庫 13. 学校 14. 体育館 15. 劇場、遊戯場等 16. その他(_____)
- 4 構造種別 1. 鉄筋コンクリート造 2. プレキャストコンクリート造 3. ブロック造
4. 鉄骨鉄筋コンクリート造 5. 混合構造(_____)と(_____)

整理番号

建築物番号

住宅地図整理番号

地上 _____ 階
地下 _____ 階
ア _____ m
イ _____ m

今回は調査1には該当しないと判断し、調査2と調査3の判定を実施しました。

調査 調査方法：(1. 外観調査のみ実施 2. 内観調査も併せて実施)

1 一見して危険と判断される。(該当する場合は○を付け危険と判定し調査を終了し総合判定へ)

1. 建築物全体又は一部の崩壊・落階	2. 基礎の著しい破壊、上部構造との著しいずれ
3. 建築物全体又は一部の著しい傾斜	4. その他(_____)

2 隣接建築物・周辺地盤等及び構造躯体に関する危険度

	Aランク	Bランク	Cランク
判定(1)	① ① 損傷度Ⅲ以上の損傷部材の有無	1. 無し	2. あり
判定	② ② 隣接建築物・周辺地盤の破壊による危険	1. 危険無し	2. 不明確
	③ ③ 地盤破壊による建築物全体の沈下	1. 0.2m以下	2. 0.2m～1.0m
	④ ④ 不同沈下による建築物全体の傾斜	1. 1/60以下	2. 1/60～1/30
	⑤ ⑤ 柱の被害 [下記⑤⑥の調査階(被害最大の階) _____ 階] (壁構造の場合は柱を壁の長さに読みかえる)	⑤ ⑤ 損傷度Ⅴの柱本数/調査柱本数 損傷度Ⅴの柱の総数 _____ 本 調査柱 _____ 本 (調査率 _____ %)	
(2)	⑥ ⑥ 損傷度Ⅳの柱本数/調査柱本数 損傷度Ⅳの柱の総数 _____ 本 調査柱 _____ 本 (調査率 _____ %)	⑥ ⑥ 1. 10%以下 2. 10%～20% 3. 20%超	
	判定(2)	1. 調査済み全部Aランクの場合	2. 要注意 Bランクが1の場合
判定	3. 危険 Cランクが1以上又はBランクが2以上	判定(2)	

危険度の判定 判定(1)と判定(2)のうち大きな方の危険度で判定する	1. 調査済み(要内観調査)	2. 要注意	3. 危険
---------------------------------------	----------------	--------	-------

3 落下危険物・転倒危険物に関する危険度

	Aランク	Bランク	Cランク
① 窓枠・窓ガラス	1. ほとんど無被害	2. 歪み、ひび割れ	3. 落下の危険有り
② 外装材 湿式の場合	1. ほとんど無被害	2. 部分的なひび割れ、隙間	3. 顕著なひび割れ、剥離
③ 外装材 乾式の場合	1. 目地の亀裂程度	2. 板に隙間がみられる	3. 顕著な目地ずれ、板破損
④ 看板・機器類	1. 傾斜無し	2. わずかな傾斜	3. 落下の危険有り
⑤ 屋外階段	1. 傾斜無し	2. わずかな傾斜	3. 明瞭な傾斜
⑥ その他(_____)	1. 安全	2. 要注意	3. 危険
危険度の判定	1. 調査済み全部Aランクの場合	2. 要注意 Bランクが1以上ある場合	3. 危険 Cランクが1以上ある場合

総合判定 (調査の1で危険と判定された場合は危険、それ以外は調査の2と3の大きい方の危険度で判定する。)

1. 調査済(緑) 2. 要注意(黄) 3. 危険(赤)

コメント (構造躯体等が危険か、落下物等が危険かなどを記入する。)

コメントは判定ステッカーの注記と同じとする。

調査方法

判定(1)

判定(2)

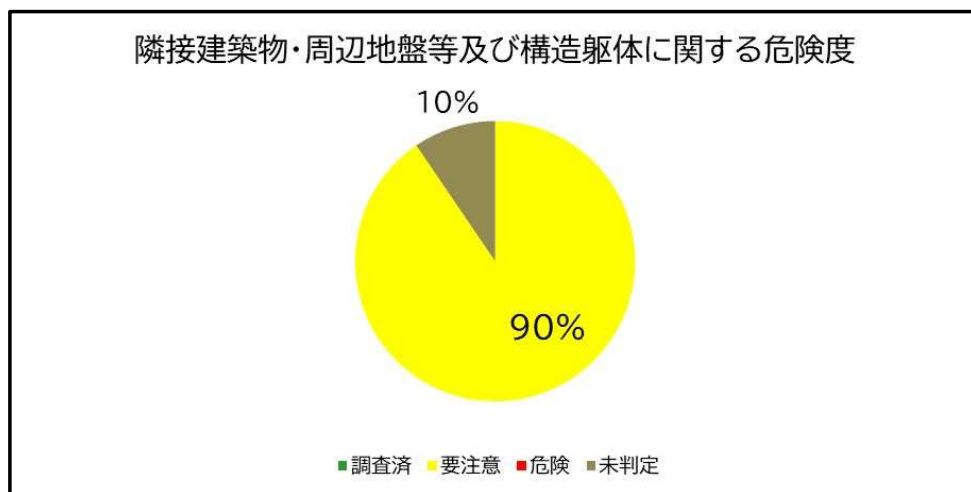
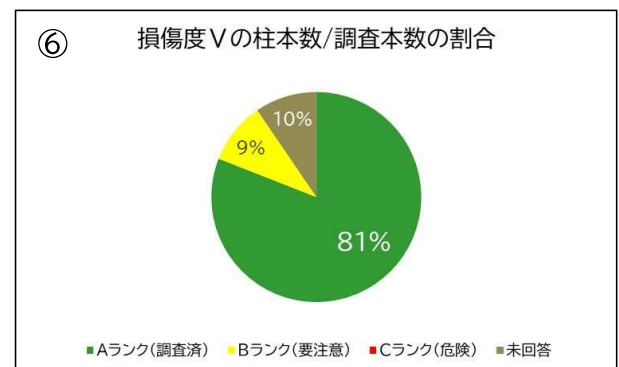
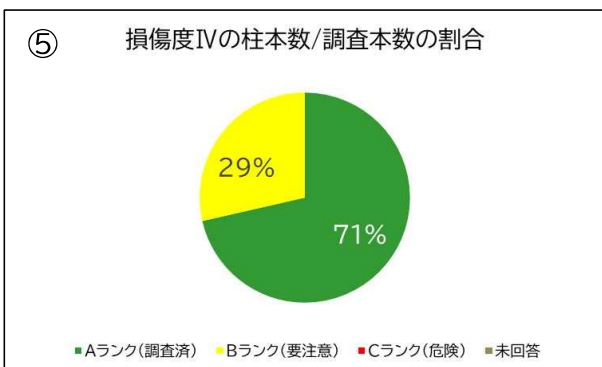
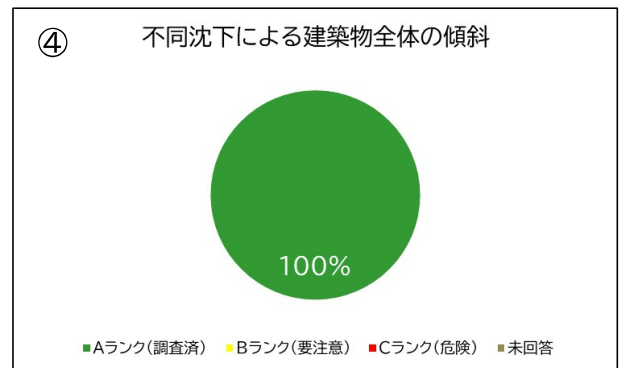
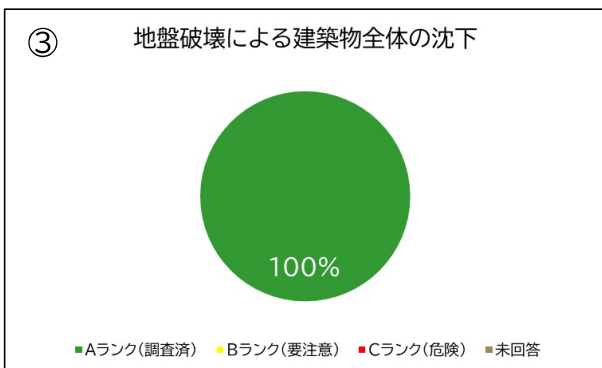
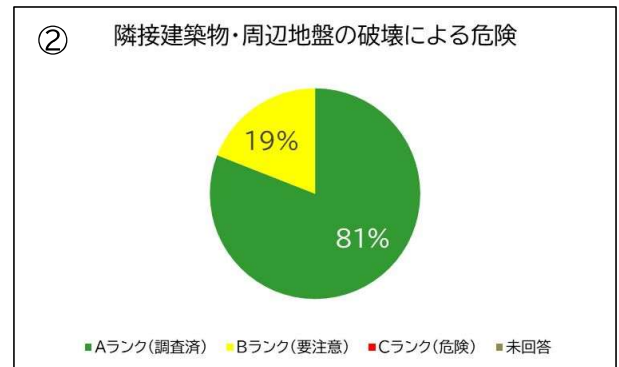
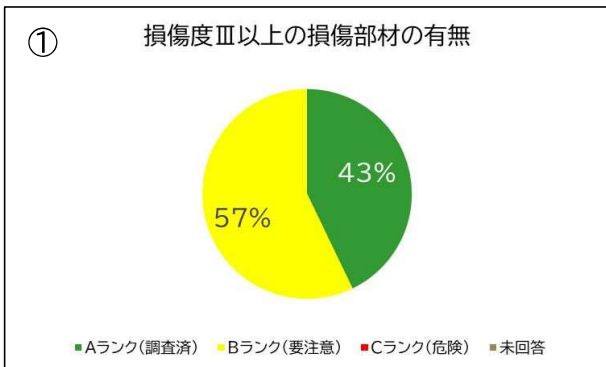
判定

判定

総合判定

調査2

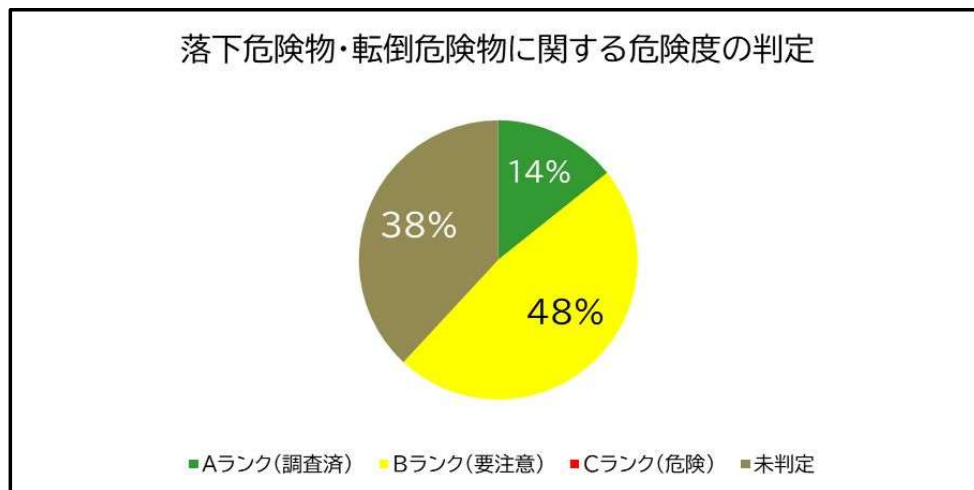
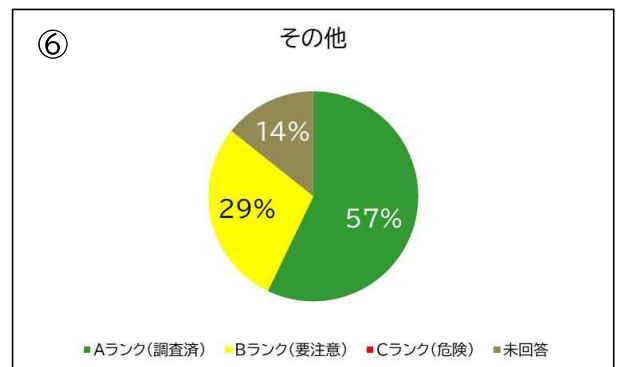
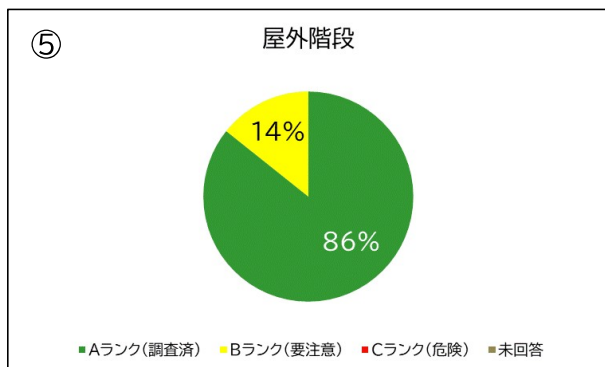
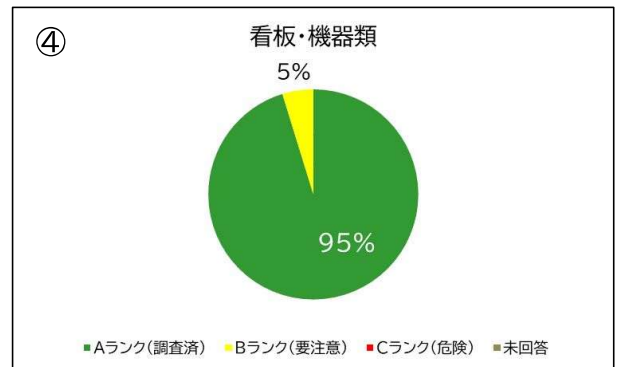
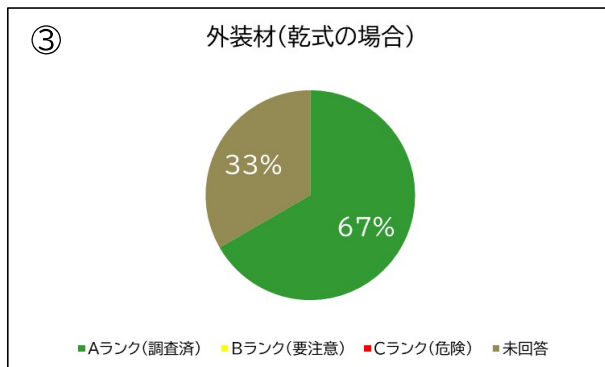
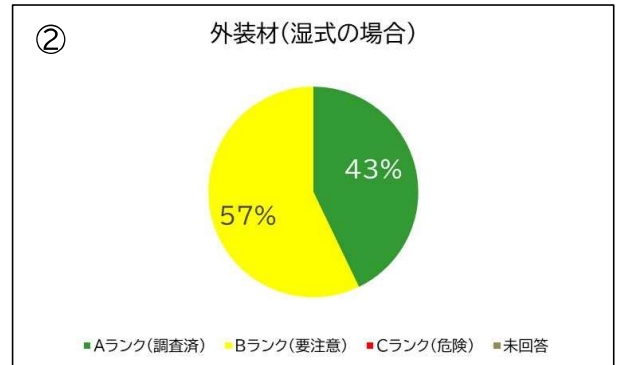
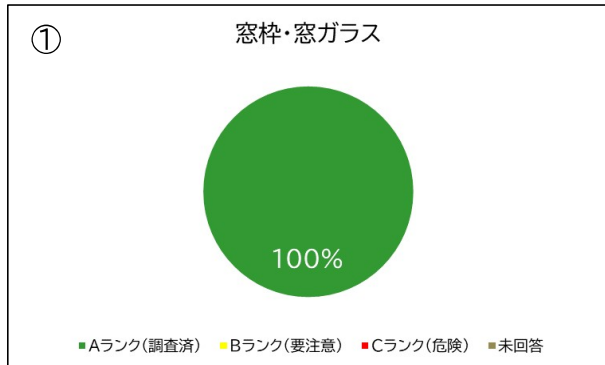
隣接建築物・周辺地盤等及び構造躯体に関する危険度



※未回答がある場合、未判定と集計されています。

調査3

落下危険物・転落危険に関する危険度

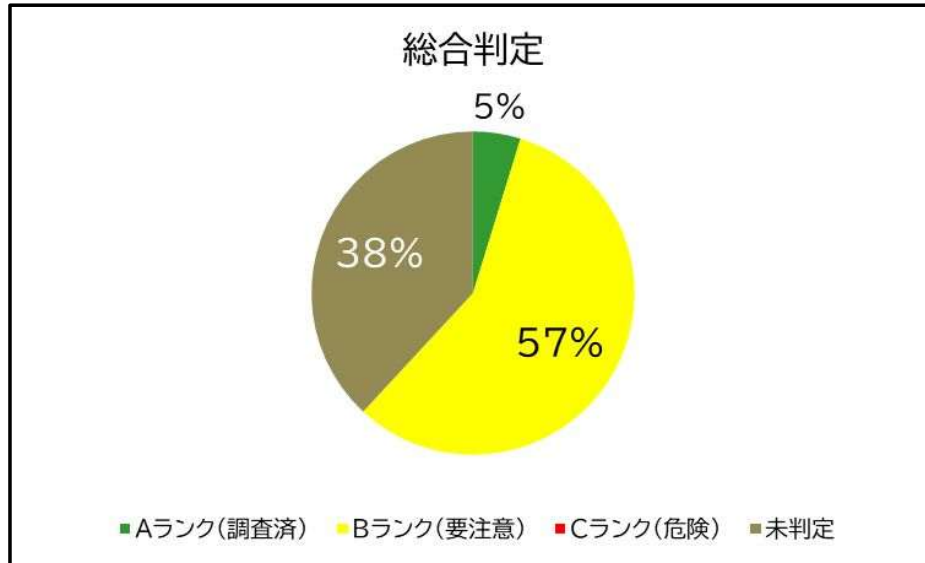


※未回答がある場合、未判定と集計されています。

調査1～3の総合判定

調査1で危険と判定された場合は危険、それ以外は調査の2と3の大きい方の危険度で判定します。

今回は調査1には該当しないと判断し、調査2と調査3の判定を実施しました。



現地に貼る判定ステッカーへ記載のコメント

- 一部柱仕上げ部分にクラックが見られますが使用継続が可能です。
- 庭側の1階外壁柱に損傷が有る。
道路側の擁壁に部分的では有るが不明確なクラック有る。
- 庭側の広場隅の端に破損あり
- 12本の柱の内、損傷度4の1柱が1本あり
- 庭側隅柱のクラック、道路下擁壁に注意
- 柱の損傷が見られるため要注意
- 要注意
- ①柱損傷有り
②外装材部分的ひび割れ有り
- 構造躯体が危険
- 部分的なひび割れ有
- 1階柱に一部ひび割れあり
上部外装材にひび割れあり
- 一階に損傷度4の柱有り
外壁に1ミリから2ミリのひび割れ多数
外壁塗装の剥がれ、外階段のサビあり
- 柱の仕上げのクラックを見受けられるが、継続仕様は可能です

※未回答がある場合、未判定と集計されています。